

2020年 2月の景気動向調査 ～ 日本商工会議所 LOBO (早期景気観測) 調査

LOBO (ロボ) 調査とは ～“Quick Survey System of Local Business Outlook” の略称～

日本商工会議所が全国の商工会議所のネットワークを活用して、地域や中小企業の「肌で感じる足元の景況感」や「直面する経営課題」を全国ベースで毎月調査し、その集計結果をリアルタイムで調査実施会議所等へ提供する景気観測調査です。

LOBO 調査にぜひご参加・ご協力をお願いいたします。 詳細は、刈谷商工会議所 LOBO 調査担当まで
★回答いただく調査票は、A4 サイズで2～3枚、全て選択式です。 〆電話 0566-21-0370

2月 全国値判断 業況DIは、大幅に悪化。先行きは、新型コロナウイルスに伴う懸念広がる

●全産業合計の業況DIは、▲32.6
(前月比▲5.8ポイント)

都市部の再開発を中心とした民間工事や公共工事は堅調なもの、新型コロナウイルス流行の影響が大きく、中国からの団体旅行客などのインバウンドを含む観光需要の落ち込みや国内客の客足減少を受けたサービス業や小売業をはじめ、サプライチェーンの混乱により生産や物流に影響が及んでいる製造業や卸売業の業況感が悪化した。また、根強い消費者の節約志向や深刻な人手不足、人件費の上昇、世界経済の先行き不透明感が依然として広く業況の押し下げ要因となっており、中小企業の業況改善に向けた動きには遅れが見られる。

●先行き見通しDIは、▲31.5 (今月比+1.1ポイント)

補正予算など経済対策への期待感がうかがえる一方、新型コロナウイルスの流行によるインバウンドを含む観光需要の鈍化やサプライチェーン・生産活動への影響、消費税率引上げ、人件費の上昇や受注機会の損失など人手不足の深刻化、原材料費の上昇、コスト増加分の価格転嫁の遅れ、世界経済の動向など不透明感が増す中、中小企業の業況感は慎重な姿勢が続く。

※DI値 (景気判断指数) について

DI値は、業況・売上・採算などの各項目について、判断の状況を示す。売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景況感の相対的な広がりを意味する。

DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)
業況 = 好転 - 悪化

刈谷の業況・企業の声 (産業別概況)

凡例 ▶ 30以上 ☀️ 10を超える ☁️ 10～▲10 ☁️ ▲10を超える ☁️ ▲30以上 ☔️

【建設業】 ▲23.5 (前年同月比) ☁️

「ローコスト住宅を売りにする大手ハウスメーカーによる圧迫」(建設業)
「対企業民間工事の受注が非常に弱い」(塗装工事業)

【小売業】 ▲53.8 (前年同月比) ☔️

「出版業界の低迷・少子化」(書籍 [小]) 「業況が悪化した要因・事由が複合的にからみあってこれと特定するのは難しい」(服・寝具 [小]) 「近年食パン専門店の増加により、業界全体に活気がある。メディアの取り上げなど人口減少や若い世代が安定感のあるチェーン店に就職を希望しており、個人店では人材の確保が難しい状況になっている。」(菓子・パン [小])

【卸売業】 ▲30.0 (前年同月比) ☔️

「ネット通販の伸びや新規顧客獲得で売上は伸びそうだが、全般的には減少ムードが強い。人手不足、仕入原価高騰の売上を伸ばす為に、コストがかかる。業態を変えていくのに経費がかかっている。これからの伸びに期待したい」(米穀類 [卸]) 「消費税のアップ、コロナウイルスなど業界を取り巻く環境が悪化」(酒 [卸]) 「利益率が悪化していて売上が上がっても横ばい利益にしか繋がらない。支払の増加に伴い厳しくなり資金繰りが悪化している」(飲食料品 [卸]) 「人手不足により、営業を行う時間が少なく、受け入れる量も制限しなくてはいけない現場にある。効率化を進めても限界があるので、人材の育成にも取り組みたい」(食料品 [卸])

【製造業】 ▲56.0 (前年同月比) ☔️

「現地調達化」(自動車部品 [製]) 「取引先の減産」(ソフトウェア開発) 「客数の生産数減少に伴う売上の減少(客数の生産数減少に伴う売上の減少) 自動車販売の海外市場での落ち込み」(自動車部品 [製]) 「中国状況の悪化が減少の要因」(金属製品 [製]) 「キャッシュレス決済による5%還元事業により微増」(木製品 [製]) 「中国経済の低成長により、設備関連の仕事が低迷している」(自動車部品 [製])

【サービス業】 ▲30.0 (前年同月比) ☔️

「先行投資が大きく、現段階で利益が少ない状況」(ソフトウェア) 「低金利が続いており悪化(採算)傾向」(銀行) 「飲食事業の売上低下により悪化」(施設管理、飲食業) 「人手不足、販売価格の下落、仕入先の受入停止など先行きに明るい見通しが見れない。又特に運転手など労働者の不足の為賃金の上昇に中小企業は業績悪化する」(産業廃棄物処理業)

【全産業】 ▲37.2 (前年同月比) ☔️

全産業合計の業況DIは、全国は-32.6(前月比▲5.8ポイント)。それに対し、刈谷は-40.0(前月比▲2.8ポイント)で業況DIは悪化した。

〆調査期間：2020年2月12日～18日

(刈谷回答数) 建設業：17 製造業：25 卸売業：10 小売業：13 サービス業：20